



中部楽器技術専門学校

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6
TEL:052-741-6788(代) FAX:052-741-6789
フリーダイヤル 0120-856-854

Access

名古屋市営地下鉄
桜通線・鶴舞線 御器所駅 8番出口 徒歩1分



本校の魅力 【真のプロフェッショナル養成に向けて】

Point 1

楽器業界への第一歩となる 認可校。全国から学生が集まります。
愛知県から認可を受けた楽器分野の専門学校として1980年に開校。以来、同分野のトップ校として全国から学生が集まり、ピアノ調律師・管楽器リペアマン・ギター技術者・バイオリン技術者・楽器ビジネス分野で活躍する人材を2800人以上輩出しています。

Point 2

卒業生や業界との密な連携と手厚い就職支援による 高い就職率。
定期的な個人面談やガイダンスで一ひとり希望の進路に導けるようサポート。OB・OG講話や校内での企業説明会を実施し、職種・業界理解や就職斡旋などの支援を行います。

Point 3

通常授業以外にも手厚い指導 多彩な体験型学習。
合宿研修・工場見学・楽器フェア見学などの実践スキルを高める課外授業を実施。海外研修・学園祭・スポーツ大会などの行事でコミュニケーション能力を高めて成長も支えます。

Point 4

実務に直結する実践力の養成 インターン実習。
積極的に児童福祉施設や小中学校、楽器店、劇場、イベント会場など、豊富なインターン実習を実施。就職前に実際の仕事を多数体験することで、希望の進路を明確にでき、実践力も身につけていきます。

Point 5

将来に役立つ ビジネス力 を習得。
今、社会で求められるのはビジネス力。各科・コースともに専門技術の習得だけでなく、ビジネス力を高める講義を設け、継続学習の中で基礎から応用まで知識やスキルの習得を支援します。

音楽や楽器の知識・技術をベースにビジネス力を身につけ ピアノや管楽器、弦楽器、舞台・イベントなどのスペシャリストを目指す!

1980年の開校以来、卒業生総数は2,800名を超え、楽器・音楽業界に優秀な人材を輩出し続けています。きめ細やかな実習や多彩な体験型学習を通して、高度な技術と専門知識、そして豊かな人間性を育み、楽器演奏を支え、音楽の可能性を広げるスペシャリストへとあなたを導きます。



入学試験ガイド

学科名	修業年限	募集定員	保証人	出願資格	出願に必要な日本語能力	試験日	合格発表日	入学金	授業料	教育充実費	施設費	合計
音楽サービス創造学科	3年	36	在日の保証人を得ること	①高等学校卒業(卒業見込含む)以上の者 ②文部科学省が行う高等学校卒業試験の合格者 ③通常課程による12年の学校教育を修了または終了見込の者	以下のうちいずれかを証明すること ・日本語能力試験N2以上 ・日本留学試験の日本語読解、聴解及び聴読解の合計が200点以上 ・学校教育法第1条に規定される学校に1年以上在籍 ・日本語学校の卒業(見込)証明書・出席証明書・成績証明書	AO入試: 2018/ 7/ 7 (土) 8/22 (水) 9/29 (土) 10/27 (土) 11/17 (土) 12/22 (土)	AO入試: 2018/10/1 (月)~随時	300,000	前期: 330,000 後期: 330,000	1年次: 220,000 2年次: 280,000 3年次: 280,000	1年次: 200,000 2年次: 240,000 3年次: 1,180,000	1年次: 1,380,000 2年次: 1,180,000 3年次: 1,180,000
ピアノ調律科	2年	30				前期: 210,000 後期: 260,000	1年次: 300,000 2年次: 300,000			1年次: 1,470,000 2年次: 1,230,000		
管楽器リペア科	2年	30				前期: 210,000 後期: 260,000	1年次: 300,000 2年次: 300,000			1年次: 1,470,000 2年次: 1,230,000		
弦楽器製作科 ギタークラフトコース	2年	30				前期: 270,000 後期: 300,000	1年次: 300,000 2年次: 300,000			1年次: 1,530,000 2年次: 1,260,000		

留学生 VOICE (在学生)

平成29年度 管楽器リペア科入学
呉修娟さん(韓国:京畿道出身)



中部楽器技術専門学校に入学したきっかけ

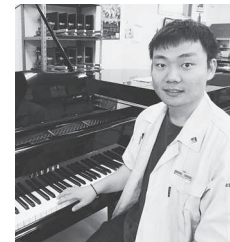
管楽器リペアを学べる学校を探していたとき、知り合いを通じて韓国国内で働いている中部楽器技術専門学校の卒業生を紹介してもらいました。伝統がある学校で、カリキュラムも体系的になっており、リペア現場に卒業生が多く活躍していたため、自分も一流になるための技術を身につけよう留学を決めました。

現在の学校生活や将来の夢

技術を身につけるための実技以外にも知識を高めるための授業や行事があり、毎日が大変ですが非常にやりがいを感じます。周りの仲間と助け合い、切磋琢磨しながら着実に成長しています。卒業後は、日本でキャリアを積み、信頼を得られるリペアマンとして活躍していきたいです。

留学生 VOICE (在学生)

平成29年度 ピアノ調律科入学
李若浩さん(中国:広東省出身)



中部楽器技術専門学校に入学したきっかけ

大学を卒業し、建築会社に就職をしました。仕事をしていく中で、「幼いころから続けていた音楽で仕事をしたい」と強く思うようになりました。その時、友人の紹介で中部楽器技術専門学校を知り、クラス担任制できめ細かく技術指導や就職支援もしてくれる信頼できる学校と感じました。そして、日本に留学をしようと決めました。

現在の学校生活や将来の夢

日本語に不安はありましたが、先生や学友が優しく、教え方もわかりやすく、しっかりとピアノの技術や知識を学ぶことができます。将来は、ピアノの製造に携わる仕事をしたいと思っています。日本で多くの経験を積み、中国で調律師として活躍したいと思います。

留学生支援

特待生制度

本校独自の学費支援制度が充実しています。特待生制度の対象が広がり、活用しやすい制度となっており、「AO入試特待生」「一般入試特待生」と揃っています。授業料などの免除もあり、いくつか免除額が設定されています。さらに、入学後も継続したり、進級時に新規で特待生になることができます。

生活支援

本校と提携している食事付き学生会館などがあります。朝・夕の食事の提供や生活に必要な設備(家具類など)が初めから揃っています。また、館長夫婦が24時間常駐しているため病気の時なども安心です。留学生の方には、特別料金が適用されます。その他、学生専用マンションや民間アパートなどのご紹介もしています。

南京芸術学院コラム

本校では、友好提携校である南京芸術学院(芸術や音楽を学ぶ芸術大学)との学生交流会を行っています。過去には、中国からの研修生の受け入れや本校講師の派遣などを行っていました。相互の技術講習会や音楽文化の交換会などを実施し、国際交流に貢献しています。



最近、中国や韓国、台湾などからの留学生が増えています。